



2026年3月19日

各 位

会 社 名 株式会社イー・ロジット
代 表 者 名 代表取締役社長 池田 忠史
(コード番号：9327 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員CFO兼経営管理本部長 森 俊介
(TEL. 03-3518-5460)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たりの 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,356	百万円 52	百万円 54	百万円 38	円 銭 4.85
今回修正予想 (B)	百万円 9,555	百万円 △124	百万円 △188	百万円 △203	円 銭 △16.47
増減額 (B-A)	百万円 △800	百万円 △177	百万円 △242	百万円 △241	円 銭 —
増減率 (%)	△7.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	百万円 10,259	百万円 △78	百万円 △75	百万円 123	円 銭 22.88

2. 修正の理由

(1) 売上高の修正について

当第3四半期以降、新規顧客の獲得や新規サービスの提供開始により売上ボリュームは回復基調にあるものの、既存顧客の出荷量が当初計画を下回って推移していることに加え、一部の大型案件の稼働開始時期が翌期以降にずれ込んだこと、さらには、新規商品流通事業として開始したNorthmall事業等の売上高が期初の想定に及ばなかったこと等により、売上高は前回予想を800百万円下回る見込みとなりました。

(2) 利益面（営業利益・経常利益・当期純利益）の修正について

売上高の減少に伴う売上総利益の低下により、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。経常利益及び当期純利益につきましては、上記の営業利益の減少に加え、新株式及び新株予約権の発行、処分に伴う費用等として57百万円を営業外費用として計上する見込みとなったことから、それぞれ前回予想を下回る見通しです。

(3) 今後の対策

今後の対策といたしましては、新規顧客に対する提案活動及びアライアンスを一層強化し、物流受託基盤の拡大を図ってまいります。さらに、既存の物流受託モデルである、顧客の売上動向に依存する構造からの

脱却を目指し、新たに商品流通事業等の自社主導型ビジネスの展開を加速させることで、収益源の多様化と早期の業績回復に努めてまいります。あわせて、全社的な経費の見直しや不採算業務の合理化を通じて損益分岐点の引き下げを並行して推し進め、早期の業績回復と安定的な黒字化に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上